

サステナビリティ推進の方向性

JSRグループの事業戦略と サステナビリティ戦略を一体のものとして推進し、 さらなる価値創造につなげていきます

JSRグループは、サステナビリティを「企業活動を通じて価値創造することで社会に貢献する」と定義し、多様性を尊重しながらグループ全体でサステナビリティを推進することを、企業価値向上に向けた重要な戦略の一つと位置付けています。

サステナビリティへの取り組みの推進にあたっては、2021年度に、企業理念や経営方針をベースに、社会・自然環境、製品市場、技術動向、ステークホルダーの関心などを総合的に勘案してマテリアリティを特定しました。経営基盤における5つのマテリアリティに関するKPIの中では、特に二つの項目を重視しています。一つ目は、サステナビリティ活動を推進する主体である従業員のエンゲージメント向上、そして、そのベースとなるダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DE&I)の推進です。二つ目は、世界中で非常に大きな影響を与えている気候変動への対応、すなわち環境負荷の低減です。また、今後に向けては、事業機会につながるサステナビリティへの取り組みも一層、推進していきます。



2023年度のKPIは順調に進捗しました。進捗確認の中で得られた情報を分析したところ、事業ごとの特性に着目することの必要性やグローバルでの取り組みが有効な項目、地域特性を踏まえた取り組みが有効な項目などが明確となり、今後のKPIの見直しに反映することとなっています。いずれのKPIについても達成することだけが目標ではなく、達成に向けた取り組みを通じて、各部門における活動にサステナビリティの視点をしっかり組み込んでいくことが重要であり、引き続き、関連部門やグループ会社などと相互に密なコミュニケーションを取っていきます。

また、外部からの多様な知見を積極的に取り入れていきます。当社のサステナビリティ推進担当役員は、取締役会で

のサステナビリティ推進に関する様々な議論に参画し、社外取締役の独立した立場からの有益なアドバイスを受けています。また、この数年はコロナ禍で社外との交流が限られていましたが、2022年度後半からは他社とのネットワークワーキングや、専門家を招いての講演会などを実施しています。今後もこれらの取り組みを継続し、グループ内への有益な情報発信につなげます。

ステークホルダーの皆様の期待に応えるためにも、全従業員がサステナビリティの視点を意識して自己の業務に取り組んでいるという状態を目指し、後押しをしていきます。